お客さまへ

ご使用前に、この取扱説明書を必ずお読みください。お読みになった後、大切に保存し、必要なときにお役立てください。

安全のために必ずお守りください

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	器具の改造や指定部品以外の交換はしない。（火災・感電・落下の原因）	禁止	器具のすき間や放熱穴に金属類を差し込まない。（火災・感電の原因）
禁止	器具やランプを布や紙などで覆わない。（可燃物をかぶせて使うと火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

禁止	お客さま自身で電気工事はしない。電気工事士などの資格が必要です。（火災・感電の原因）	禁止	点灯中のランプから近距離の所で長時間の作業をしたり、ランプを直視しない。（皮膚炎症や高輝度のため目を痛める原因）
禁止	ランプに塗料などを塗らない。（ランプが過熱・破損してけがの原因）	厳守	器具の取付条件や商品周囲の温度に注意する。（照射される商品の劣化）
禁止	器具の直下や近くにストーブなどの熱器具を置かない。（過熱して火災の原因）	厳守	ランプの外管バルブが割れた場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。（紫外線による障害や、破損・落下によりけがの原因）
禁止	節電その他の理由でランプを取り外して間引き点灯しない。	厳守	ランプが点滅を繰り返したり正常に点灯しない場合、直ちに電源を切り、ランプを交換する。（火災の原因）
禁止	器具表示の指定ワット（W）数を超えるランプは使用しない。（過熱して火災の原因）	厳守	明るく安全にご使用いただくために半年に１回の保守・点検を行う。
禁止	ランプは落としたり、（物を）ぶつけたり、無理な力を加えない。（ランプが破損してけがの原因）		

ランプ交換・器具の清掃　⚠警告 電源スイッチを切ってから行う（感電の原因）

ランプ交換

適合ランプ
水銀灯：HF80～100
メタルハライドランプ：MF100･L－J/BU

⚠警告
フッ素樹脂膜コーティングをしていないメタルハライドランプは使用しない

①ランプの取り外しはランプを左にまわす。
②ランプの取付けは、ランプをソケットに押し込みながら、右にまわす。

⚠注意
○点灯中及び消灯直後のランプや器具には触らない（高温のためやけどの原因）
○ランプはソケットに確実に取付ける（取付けが不完全な場合落下の原因）
○使用済みのランプは不用意に割らない（ガラスが飛散してけがの原因）
○ソケットの清掃に洗剤を使用しない（洗剤でソケットが破損しランプ落下の原因）

⚠警告
器具・ランプを水洗いしない（火災・感電の原因）

清掃

○ランプ・プラスチックや金属部分の汚れは、やわらかい布にぬるま湯または水をつけてよく絞ってふきとってください。
○反射板の汚れは、やわらかい布でふきとってください。

照明器具の寿命について

●照明器具には寿命があります。設置して8～10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しています。点検・交換をおすすめします。
※使用条件は 周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯です。

●周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合は寿命が短くなります。
●3年に1回は工事店等の専門家による点検をお受けください。
●点検せずに長時間使い続けると、まれに、発煙、発火、感電などに至る恐れがあります。

保証について

■保証期間は商品お買上げ日より１年間です。ただし、蛍光灯器具内蔵の安定器は３年間です。ランプ、グロー点灯管、電池などの消耗品は対象外です。詳細は弊社カタログをご参照ください。

異常時の処置

⚠警告
煙が出たり、変な臭いがしたり、破損したなど異常を感じた場合はすぐに電源スイッチを切る。（火災・感電の原因）
煙が出なくなるのを確認して、工事店または下記連絡先にご相談ください。

この説明書は、再生紙を使用しています。

連絡先　三菱電機株式会社
三菱電機照明株式会社
〒247-0056　神奈川県鎌倉市大船2-14-40
☎(0467)41-2729（営業統轄部）
☎(0467)41-2773（品質保証部サービス課）

AKARI KOBO

E762Z138H20

このたびは三菱照明器具をお買上げいただきありがとうございました。

保管用

HID蛍光灯ペンダント

形名 **AKP1007　AKP1009**

取扱説明書

○この製品は日本国内用ですので日本国外では使用できません。また アフターサービスもできません。

施工者さまへ

○施工の前に、この取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しく施工してください。
○取付工事の後、必ずお客さまにお渡しください。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、⚠警告、⚠注意の表示で区分して説明しています。
表示の意味は表中で説明しています。

図記号の意味は次のとおりです。

絶対に行わないでください。	必ず指示に従い行ってください。

⚠警告　誤った取扱いをしたときに、死亡や重傷などに結びつく可能性があるもの

禁止	引火する危険のある雰囲気で使わない。（ガソリン・可燃性スプレー・シンナー・ラッカー・可燃性粉じんのある所で使わない）（火災の原因）	厳守	施工は電気設備の技術基準・内線規程に従い行う。
禁止	器具取付けの際は電線を挟まない。（絶縁不良により感電・火災の原因）	厳守	取付方向指示のある器具は、本体表示及び取扱説明書に従い施工する。（指定以外の取付けは、器具の落下・感電の原因）
禁止	配線工事の際、電線の絶縁体にキズをつけない。（絶縁破壊により感電・火災の原因）	厳守	ランプは必ず指定方向の範囲で使用する。（指定以外で点灯するとランプが破損・落下し、けがの原因）
禁止	安定器の二次側を器具に接続しないまま電源を入れない。（電線が焼損し火災の原因）		

⚠注意　誤った取扱いをしたときに、傷害または家屋・家財などの損害に結びつくもの

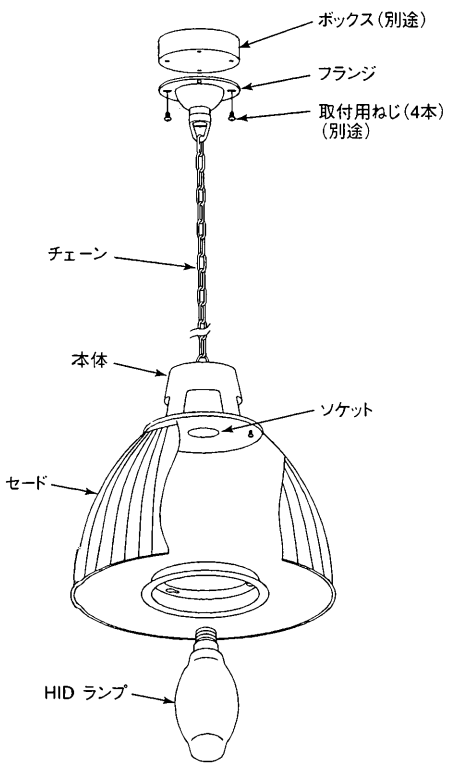
禁止	高温（35℃以上）、粉じん、油煙の多い場所、強い振動・衝撃のある場所で使わない。（落下・感電・火災の原因）	禁止	表示された電源電圧以外では使わない。（火災・感電の原因）
禁止	さびの出やすい場所、腐食性ガスの出る場所で使わない。（劣化による落下の原因）	禁止	狭い箱のような中で使わない。また、器具を隠して使う場合は、放熱を妨げない。（器具が過熱して火災の原因）
禁止	器具は乾燥不十分なクロス貼り・コンクリート面には取付けない。（絶縁不良やさびにより感電・落下の原因）	禁止	不安定な場所や燃えやすい物の近くで使わない。（倒れて火災の原因）
禁止	風呂場など水や湿気の多い場所で使わない。（火災・感電の原因）	厳守	定格ランプ電力（W）、電源電圧（V）、周波数（Hz）に適合した安定器を使う。（火災の原因）
禁止	雨水のかかる場所で使わない。（水気・湿気が入り感電の原因）	厳守	電源タップ付安定器の不要口出線の先端は一本毎に確実に端末処理をする。（火災の原因）

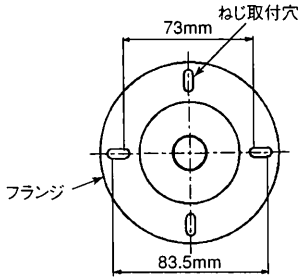
お願い

■周囲温度は5～35℃の範囲でご使用ください。
■空調機器等の排気口・温風吹出口付近の取付けはお避けください。（落下の原因となります。）
■植物のそばで使用しないでください。（植物育成障害となることがあります。）
■退色を避けたい場所には使用しないでください。（被照射物が紫外線により退色、劣化することがあります。）

各部のなまえと取付けかた

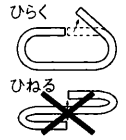
⚠警告 器具の取付けは取扱説明書に従い行う（不確実な取付けは、器具落下・感電・火災の原因）





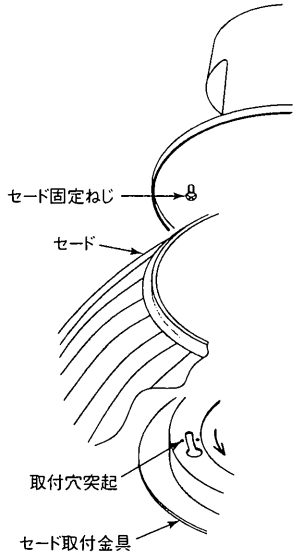
お願い

チェーンの長さを変える場合には右図のようにチェーンを開きつめてください。
また、一度開いたチェーンは再度開かないように、ご注意願います。



⚠注意

器具の取付条件や、商品周囲の温度に注意する
（冷蔵設備のない商品平台照明では、商品によって劣化の場合があります）



1 取付前の確認

○器具質量（5kg）に十分耐えるようボルト取付部の強度を確保する。
○天井取付専用器具です。
○取付面がクロス貼りの場合、接着剤が十分に乾燥してから器具を取付ける。

⚠警告
器具の取付けは質量に耐える所に取付ける
（落下の原因）

2 電源線を接続する

○安定器の二次側口出線と器具口出線を確実に接続する。
○非接地側は器具側の黒線と接続する。
○アース線を接続する。
＜D種（第３種）接地工事が必要です。＞
○安定器の二次側口出線は600Vビニール絶縁電線と同等以上の電線を使用する。
○安定器の二次側に端子台等を用いて配線する場合は、磁器製、ユリア樹脂製の耐パルス性を考慮したものを使用する。

⚠警告
○**アース工事は電気設備の技術基準に従い行う**
（アース工事が不完全な場合は感電・火災の原因）
○**電源線は余裕を持って配線し、チェーンより短く配線しない**（感電・火災の原因）

3 フランジを取付ける

○接続した電線がボックスにおさまるようにして、フランジをフランジ取付用ねじ（4本）でしっかり取付ける。
※ボックスおよびフランジ取付用ねじは付属しておりません。別途お買い求めください。
※フランジの緩み止めビスは絶対に緩めないでください。

⚠警告
取付けが不完全な場合落下の原因

4 セードを取付ける

○本体のセード固定ねじをゆるめ、セードをはめ込み、セード取付金具ではさみ込むように取付け、セード取付金具の取付穴突起を越えた位置で、セード固定ねじで確実に締め付ける。

⚠注意
取付けが不完全な場合落下の原因

5 ランプを確実に取付ける

○使用する安定器に合ったランプをご使用ください。
○ランプは十分に締め込んでください

⚠注意
○**ガラス管を強く握らない**（割れてけがの原因）
○取付けが不完全な場合落下の原因